

令和2年度の事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 ぎふ多胎ネット

1 事業の成果

- 1 SDGsの理念に基づき、多胎妊婦を誰1人取り残さず支援につなぐ事業の開始により、多胎家庭を妊娠期から支援することができた。また、地域行政や医療との連携した支援の仕組みが整い、地域包括支援が推進できた。
- 2 妊娠期から育児期の切れ目のない支援により、孤立しがちな多胎家庭を地域につなぎ、虐待防止を図れた。今年度は特に、外出困難な家庭の外出支援を丁寧にすることで、当事者を地域に繋ぐことができた。
- 3 多胎支援を担う人材が育成でき、県内各地での支援事業が可能となった。
- 4 コロナ禍でもオンラインによる交流会を工夫し、地域での子育て仲間づくりを促進し多胎家庭を地域につなぐことができた。
- 5 様々な多胎に関する情報を発信できたことで、多胎家庭の孤立や情報不足を防ぐと共に社会に多胎支援の必要性やあり方を啓発できた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者的人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費 の金額 (単位 :千 円)
多胎家庭支 援事業	多胎プレパパママ教室 (多胎の妊娠・出産に関する 講義と先輩パパママとの 交流会)	(A)5月～2月の 日曜日、全8回 13：30～15：30 (B)WEBにて行う (C)のべ71人	(D)多胎妊婦と その家族 (E)25家族	1,008
	双子等妊娠期サポート事業 (母子手帳交付時より出産 まで多胎妊婦のサポート を行う 多胎に関する情報の収集と 発信)	(A) 5月～3月の随時 (B)岐阜県内と県外の 多胎支援者宅 (C)のべ557人	(D)多胎育児者 ・多胎妊婦と その家族 ・多胎支援者 ・保健師など 行政関係者 ・助産師など 医療関係者 ・保育士など 教育関係者 ・多胎研究者 (E) 数	2,315
〃	多胎妊婦病院サポート (入院・通院中の多胎妊婦へ の訪問による相談活動)	(A)5月～12月の 毎月1回 (B)県立多治見病院 (5月～12月のみ) (C)のべ20人	(D)多胎妊産婦 (E)のべ19人	63

〃	多胎児健診サポート 〔4ヶ月児・10ヶ月児健診の 介助と育児相談及び赤ちゃん 訪問の同行〕	(A) 4月～3月の随時 (B) 大垣市保健センター 多治見市保健センター 岐阜市保健センター 美濃加茂市保健センター 北方町保健センター (C) のべ58人	(D) 多胎児と その育児者 (E) のべ38人	181
〃	ピアサポート訪問 〔申込のあった多胎家庭への 訪問による相談活動〕	(A) 4月～3月の随時 (B) 多胎家庭 (C) のべ78人	(D) 多胎児の 養育者 (E) のべ61人	200
多胎支援に 関する人材 育成事業	研修会の開催 ・ピアサポートー養成講座 ・ピアサポートーフォロー アップ講座 ・事例研修会 ・事業評価会	(A) 7月～3月 (B) 多治見市のフォ ローアップ講座の み対面型、他はWEB での研修に切替え て実施 (C) のべ50人	(A) 多胎支援者 保健師 保育士 助産師 (E) のべ130人	378
地域活性化 事業	多胎育児教室 WEBのおしゃべり会に変更 おおむね0歳～3歳の多胎児 とその養育者また多胎妊婦 育児相談、仲間づくりのサ ポート	(A) 4月～3月 月2回 10：30～11：30 (B) WEB (zoom使用) (C) のべ84人	(D) 多胎児と その養育者 多胎妊婦 (E) のべ48人	70
〃	多胎のつどいサポート 〔行政などが開催する多胎の つどいでの育児相談と仲間 づくりのサポート〕	(A) 4月～3月 (B) 1回(美濃加茂市) (C) のべ1人	(D) 多胎児と その養育者 (E) のべ5人	0
〃	多胎ファミリーフェスタ 〔パパ・ママおしゃべり会、 あそびの広場、リサイクル コーナー、〕	(A) 12月5日 10:00～15:00 (B) 中部学院大学 関キャンパス (C) のべ30人	(D) 多胎児と その家族 (E) 20家族 (90 人)	22